

62年度 一般会計

★
555
億
円
を
潤
い
の
も
ち
ま
ま
ち
づ
く
に
ハ

私たちが納めた税金は、どのように使われているのでし
ようか。市は、市の財政事情を市民の皆さんに知ってい
ただくため、毎年6月と12月の2回、「富士市の財政」
を公表しています。

今回は、2～4ページで昭和62年度の決算状況、5ペー
ジで昭和63年度上半期の執行状況をお知らせします。

昭和62年度一般会計 〔一般会計とは市税収入を主な財源として、福祉・教育・道路・消防などに使われる会計です。〕

歳入 <small>会計年度内(4/1～翌年3/31)に入ってきたお金</small>		
科目別	収入 済 額	構成比
総 額	573億5,000万円	100%
市 税	336億1,426万円	58.6
市 債	49億8,615万円	8.7
繰入金	39億5,615万円	6.9
国庫支出金	31億9,500万円	5.6
諸収入	30億9,618万円	5.4
繰越金	21億9,102万円	3.8
県支出金	16億 999万円	2.8
分担金及び負担金	15億3,677万円	2.7
寄附金	8億4,399万円	1.5
使用料及び手数料	8億3,462万円	1.5
自動車取得税交付金	4億7,395万円	0.8
その他	10億1,192万円	1.7

歳出 <small>会計年度内(4/1～翌年3/31)に支出したお金</small>		
科目別	支 出 済 額	構成比
総 額	555億 969万円	100%
土木費	170億9,484万円	30.8
教育費	90億5,413万円	16.3
総務費	67億1,256万円	12.1
民生費	66億6,833万円	12.0
衛生費	56億1,801万円	10.1
公債費	38億2,893万円	6.9
消防費	17億2,794万円	3.1
農林水産業費	16億1,920万円	2.9
労働費	13億4,392万円	2.4
商工費	13億 165万円	2.4
議会費	4億4,612万円	0.8
その他	9,406万円	0.2

富士市の家計簿を御覧ください

市民1人あたりに使うお金		25万2,034円	
市民1人当たりの市税負担額		15万2,621円	
道路・河川の整備に 7万7,617円	教育に 4万1,109円	福祉などに 3万277円	ごみの処理や健康を守るために 2万5,508円
消防活動に 7,845円	産業の発展に 1万9,363円	公債費に 1万7,385円	庁舎管理などに 3万2,930円

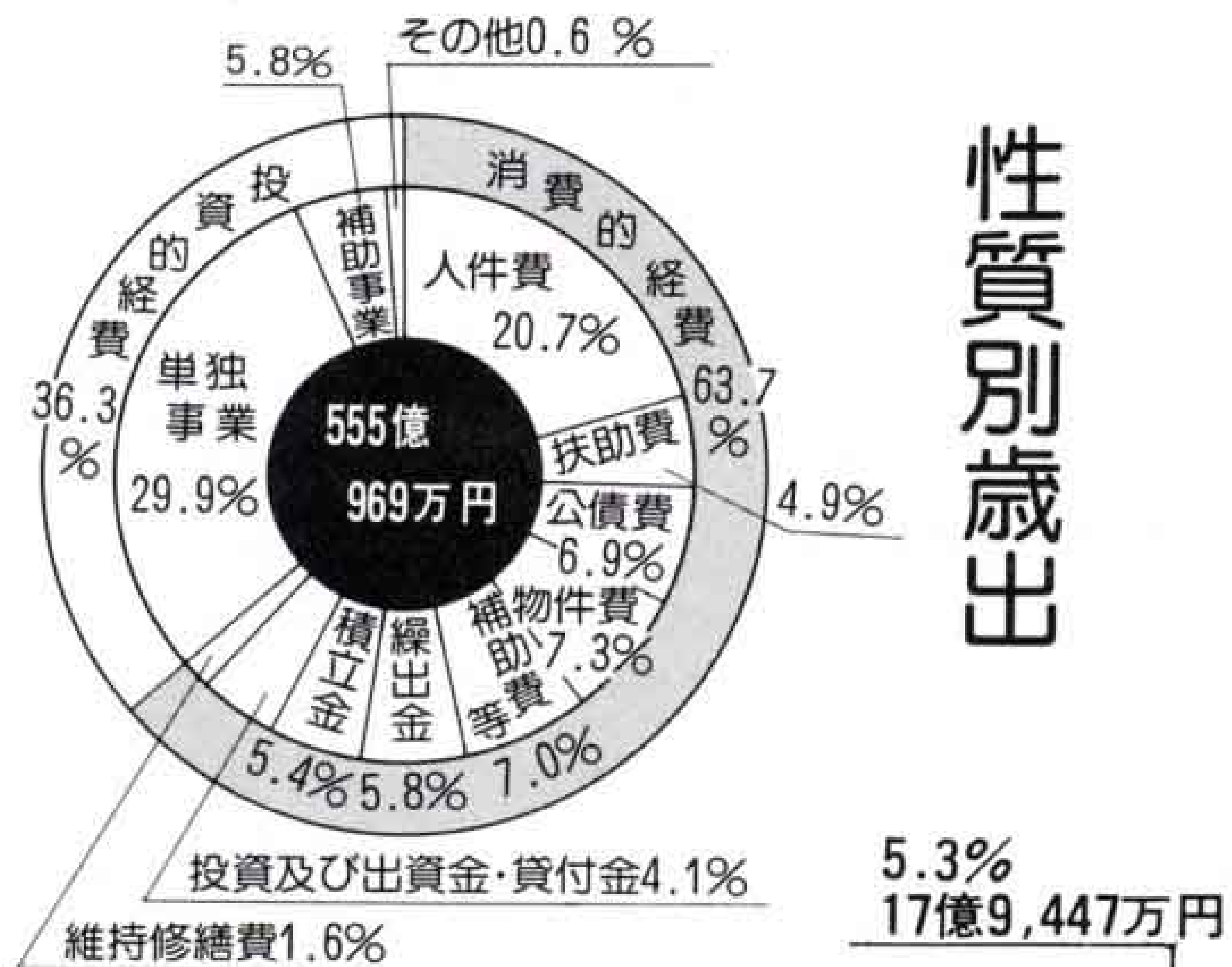
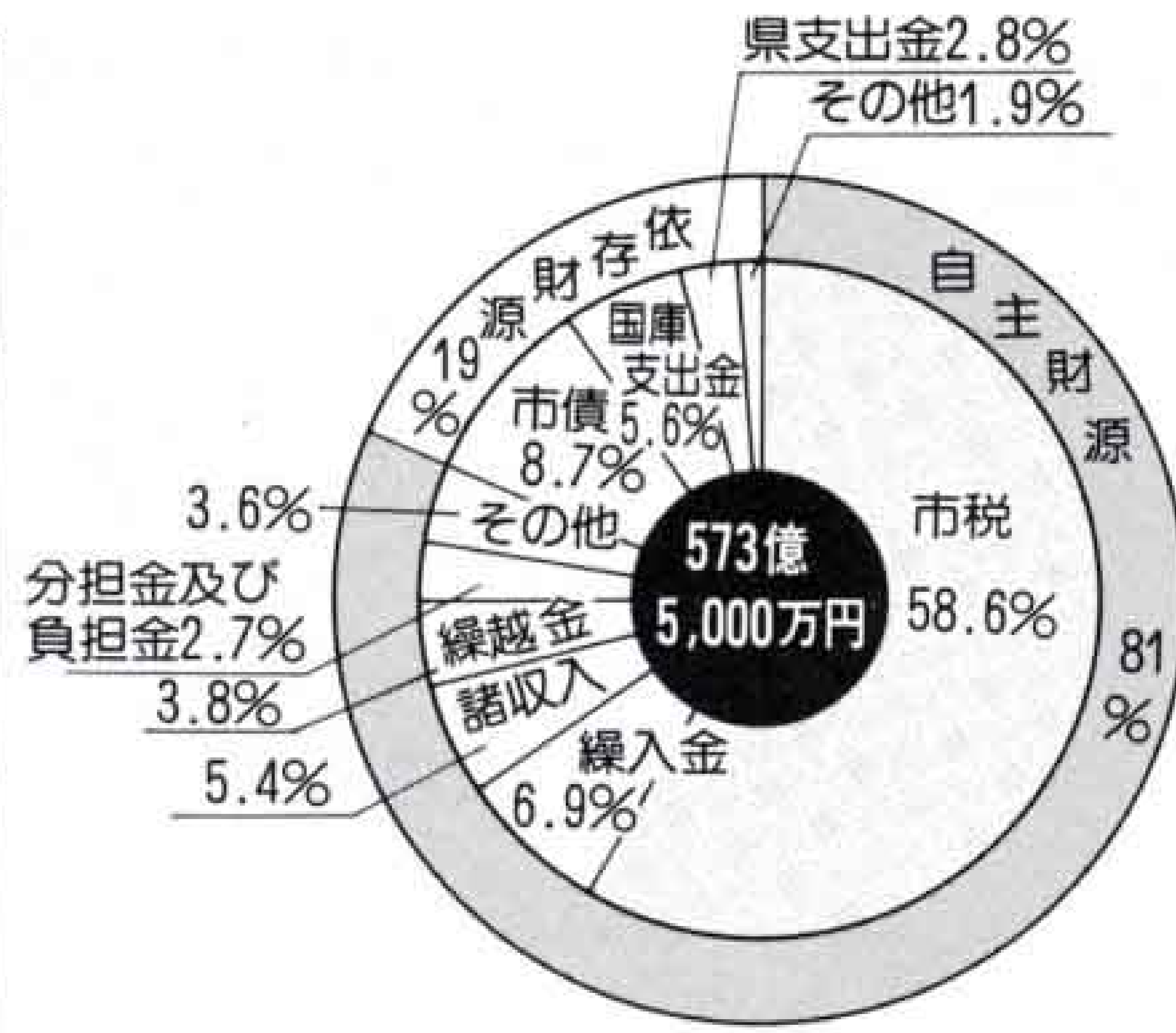
(昭和63年3月31日現在)

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合、一般会計とは別に経理する会計です。
(財産管理特別会計は省略しました)

歳入総額 212億7,021万円
歳出総額 209億5,932万円

会計区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	73億1,354万円	72億405万円
下水道事業	63億1,391万円	62億9,862万円
依田原新田土地区画整理事業	7,012万円	6,900万円
富士中部土地区画整理事業	16億6,567万円	16億5,754万円
地方卸売市場事業	3億5,058万円	3億4,761万円
駐車場事業	5,799万円	5,238万円
公共用地先行取得事業	1億1,079万円	1億1,079万円
老人保険医療事業	51億7,944万円	51億6,857万円



市税の内訳

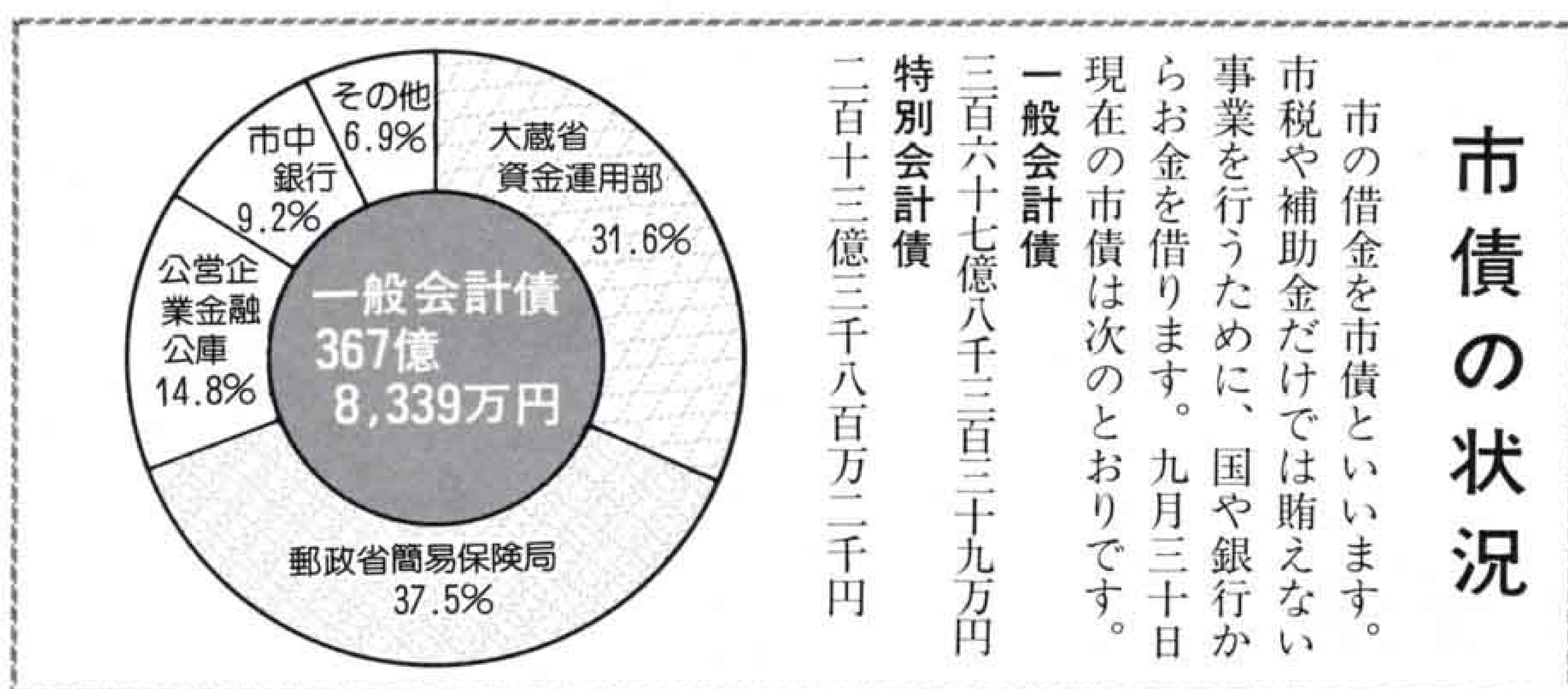
総額336億1,426万円

市民税	47.8%	160億7,144万円
固定資産税	34.8%	116億7,130万円
電気税	6.9%	23億1,841万円
都市計画税	5.2%	17億5,864万円
その他		

市有財産の状況

有価証券 1,566万円	
土地 4,925万 8,339平方尺	
建物 55万5,142 平方尺	
立木 23万4,137 立方尺	
車両 280台	

基金の現在高
(昭和63年9月30日現在)
73億5,422万6,846円



市は市民税が安いとか、反対に市は市民税が高いとかよく耳にすることがあるかもしれません。しかし、県内の市町村は国で定めた標準税率を適用しており、どの市についても税率は同じです。同様に他県の大部分の市も標準税率を使用しており、ほとんど同じといえます。

市民税は市によって違いますか
ほとんど同じです

志水さと子さん (今泉・主婦)

62年度の 企業会計

企業会計の決算状況

健全財政を続ける

企業会計は、民間企業と同様に独立採算を原則とする事業について設けられた会計で、水道事業

と病院事業の2会計があります。昭和62年度決算は、次のとおりです。

水道事業

使用水量がふえました

昭和63年3月31日現在の下水道の給水人口は、19万2,682人で、前年度に比べ1,339人ふえています。年間に皆さんが使用した水量は約2,753万6,000立方メートルで、前年度より83万7,000立方メートルふえました。

健全財政を維持しました

収益的決算は、収入で25億3,275万円、支出では20億5,655万円となり、この結果、4億7,620万円の純利益を計上することができました。これは、収入で水道使用量の順調な伸び、支出では電気料金の値下げ改定やその

他経費の節減などによるものです。

この純利益は、施設及び管網の整備・改良事業を行う資本的収支の不足分に補てんするため、どうしても必要なものです。

資本的決算は、収入額3億1,456万円、支出額9億6,413万円で、6億4,957万円の不足を生じました。この不足額は、減価償却費等と純利益を積み立てた建設改良積立金で補てんしました。

施設の充実と

地震対策を図りました

- ・ 管の布設替え等 …………… 1万5,183基
- ・ ポンプ入替え …………… 8カ所
- ・ 配水池・水源地の整備 …… 7カ所
- ・ 消火栓の設置 …………… 46基

地震対策として

- ・ 配水池築造 …………… 1池
- ・ 緊急遮断弁の設置 …… 2カ所
- ・ 滅菌機の改良 …………… 2基

水道一口知識

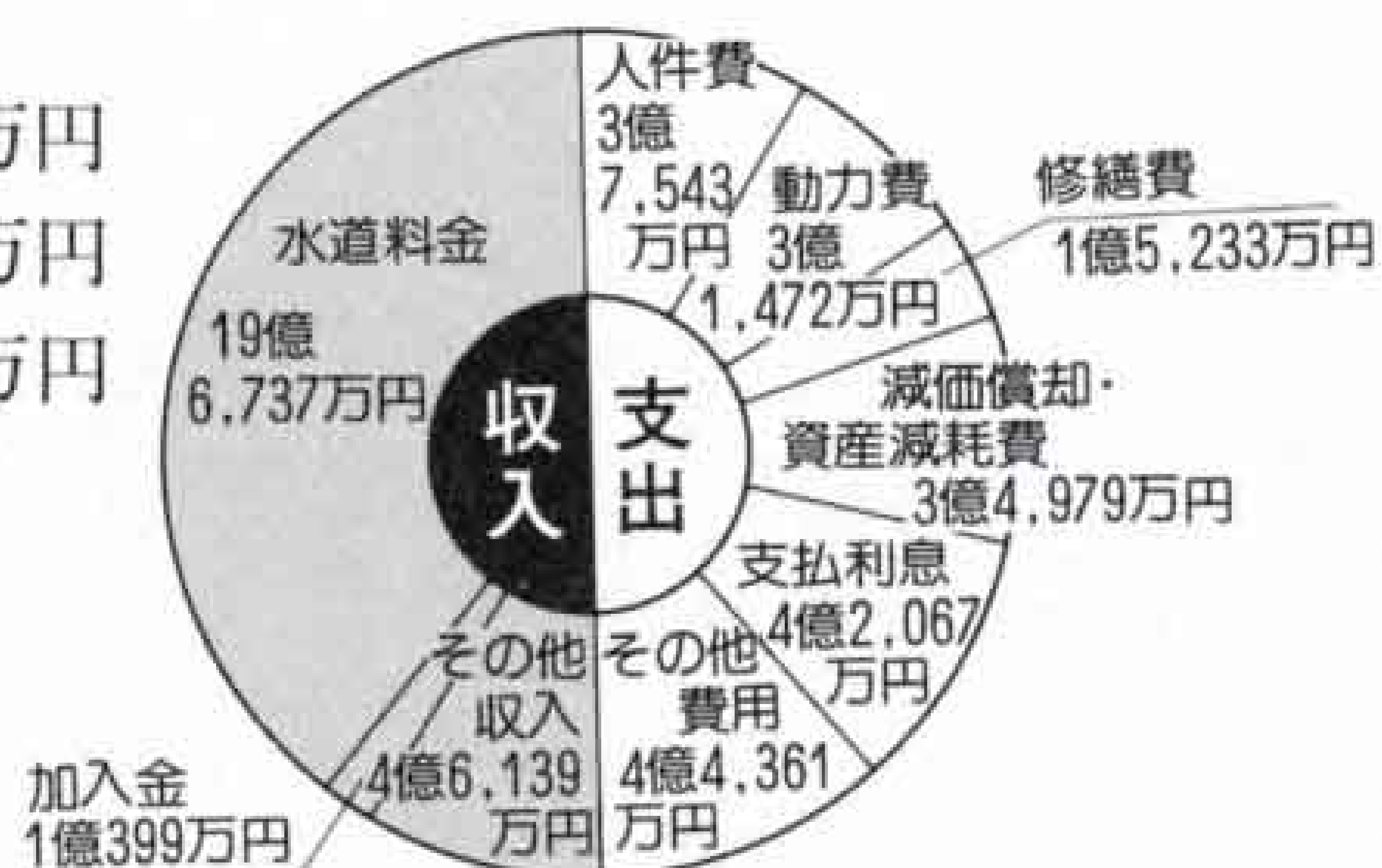
水道使用水量は 市役所のビル380杯分

市民の皆さんが年間に使用した水量は約2,753万6,000立方メートル。これは市役所の建物を大きな容器とすると約380杯分になります。なお、1日平均使用量は7万5,000立方メートル、1人年間使用量は143立方メートル、1人1日平均使用量は390リットルとなります。

昭和62年度水道事業会計の収入と支出

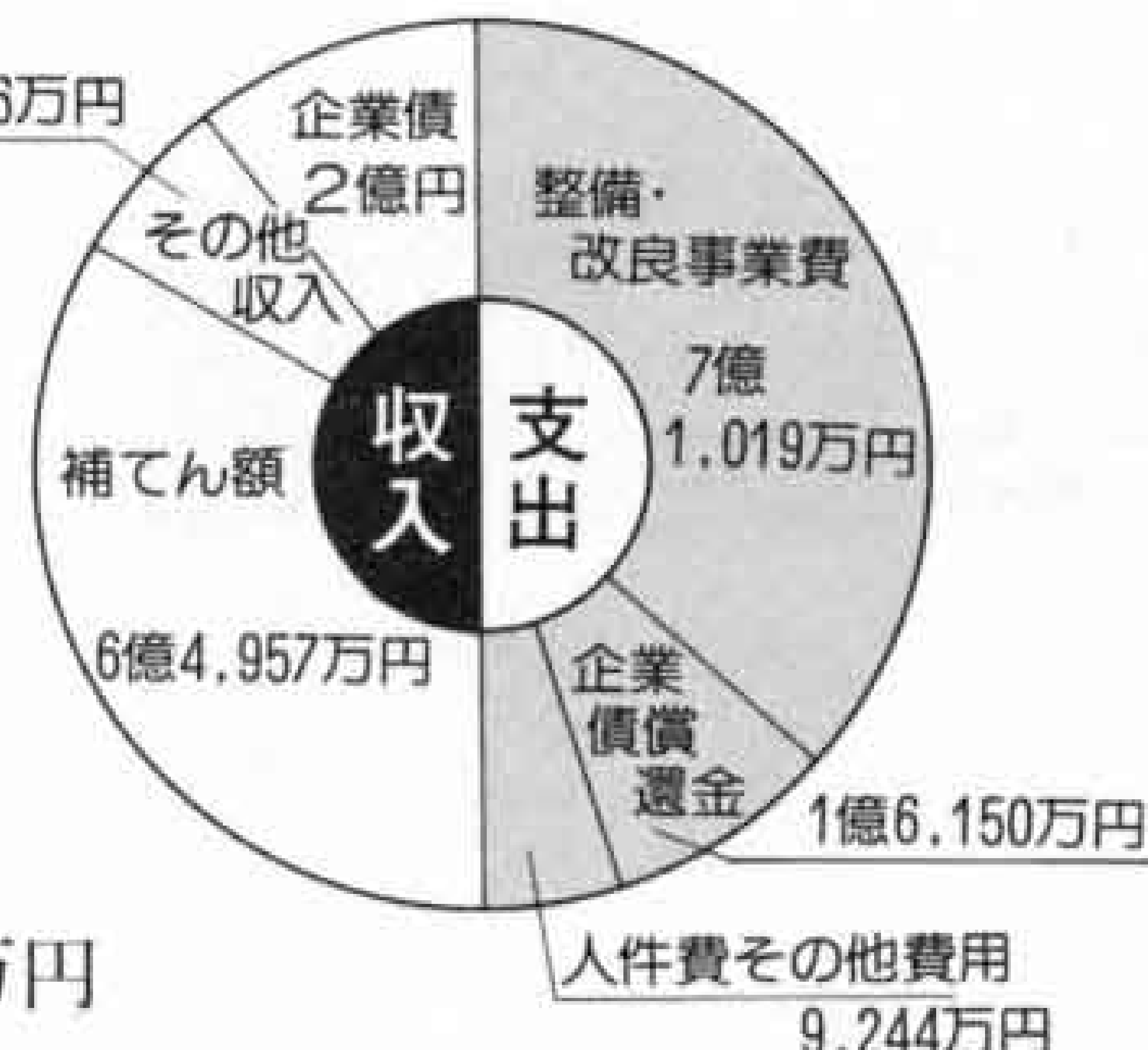
●収益的収支決算

収入 25億3,275万円
支出 20億5,655万円
純利益 4億7,620万円



●資本的収支決算

収入 3億1,456万円
支出 9億6,413万円
不足額 6億4,957万円
不足額に対する補てん財源
〈減価償却費・固定資産除却費〉
・ 過年度 458万円
・ 現年度 3億4,979万円
〈建設改良積立金〉 2億9,520万円



病院事業

収益的収支決算

〈収入〉	
医業収益	69億2,465万4,182円
医業外収益	9億8,005万7,092円
合計	79億471万1,274円
〈支出〉	
医業費用	69億1,570万3,793円
医業外費用	6億7,845万1,984円
合計	75億9,415万5,777円
純利益	3億1,055万5,497円

資本的収支決算

〈支出〉	
建設改良費	1億145万6,200円
企業償還金	4億3,598万1,414円
合計	5億3,743万7,614円
※資本的支出額5億3,743万7,614円は、過年度分損益勘定留保資金2億7,150万3,817円及び当年度分損益勘定留保資金2億6,593万3,797円で補てんしました。	



63年度一般会計予算と執行状況 (上段：予算額 下段：執行額)

市 税	347億6,920万円 211億7,777万円
市 債	64億6,860万円 0
国 庫 金 支 出	33億5,911万円 7億3,857万円
諸 収 入	30億8,657万円 3億9,815万円
繰 越 金	18億3,934万円 18億4,032万円
分担金及び負担金	17億3,479万円 7億7,036万円
県支出金	14億 80万円 1億9,196万円
その他	37億 459万円 11億2,289万円

歳 入

土木費	145億2,978万円 43億3,454万円
教育費	120億7,653万円 33億1,883万円
民生費	72億4,012万円 30億 643万円
衛生費	59億6,452万円 30億1,894万円
総務費	49億1,108万円 18億6,413万円
公債費	42億4,880万円 20億5,944万円
消防費	18億1,065万円 7億 736万円
その他	55億8,152万円 32億3,884万円

歳 出

63年度の予算の執行状況

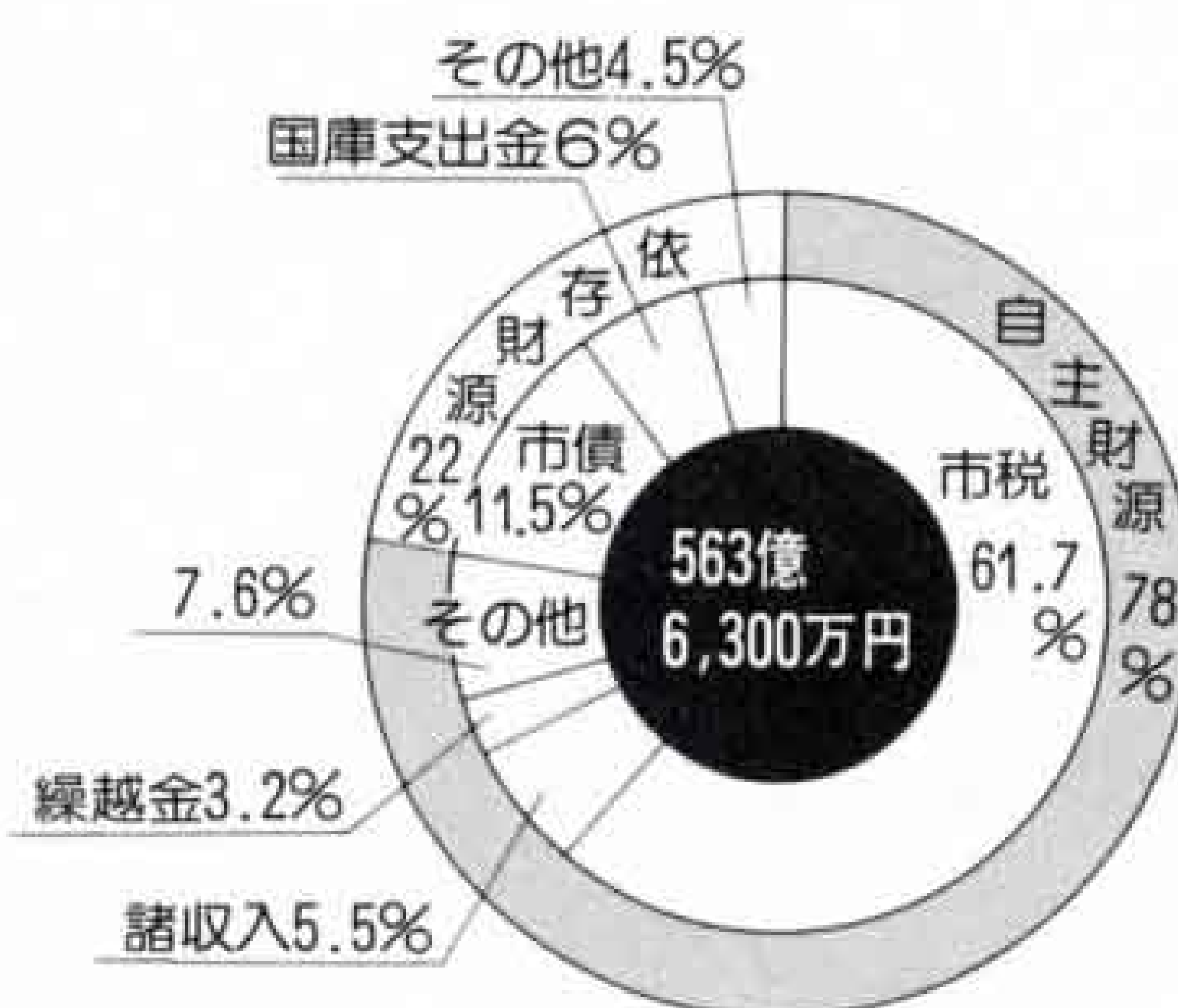
順調に執行しています

昭和六十三年年度の予算額は、二回の追加補正を含め九月三十日現在で、一般会計五百六十三億六千三百万円、特別会計二百二十四億九千二百三十六万円、公営企業会計百十九億千九百六十二万円、総額では九百七億七千四百九十八万円になります。

一般会計は、当初予算五百四十四億円に対して二十三億六千三百万円が追加補正されました。歳入面では、市税収入が、三百四十七億六千九百二十万円で、六一・七%を占めています。

公営企業会計の内訳は、病院会計が四千五百八十万円の追加補正を含めて八十四億六千五百七万円、水道会計が三十四億五千四百五十五万円です。

財源別歳入



63年度企業会計予算

	病院事業		水道事業	
	収益的収入	収益的支出	収益的収入	収益的支出
予算額	76億 5,430万円	76億 5,430万円	25億 2,952万円	22億 552万円
執行額(率)	40億 4,395万円 (52.8%)	33億 9,868万円 (44.4%)	12億 150万円 (47.5%)	7億 7,147万円 (35.0%)
	資本的収入		資本的支出	
	収入	支出	収入	支出
予算額	5,000万円	8億 1,077万円	3億 3,998万円	12億 4,903万円
執行額(率)	0 (0%)	2億 5,725万円 (31.7%)	576万円 (1.7%)	1億 7,941万円 (14.4%)

総額 907億7,498万円

(昭和63年 9月30日現在)



予算の内訳